

第4回 教育研究評議会議事要録

日 時 平成16年4月21日(水) 午後1時00分～午後2時00分
場 所 第1会議室
出席者 久米学長、重定理事、井上理事、原理事、奥村文学部長、野口理学部長、
西村生活環境学部長、矢野人間文化研究科長、的場附属図書館長、水上附属学校部長、
出田、森岡、池原、富崎、磯田、清水(哲)、今井、坂本各評議員
列席者 位田総務・企画課長、上岡人事課長、河井国際課長、吉田研究協力課長、
米平財務課長、水間施設企画課長、山本学務課長、中川学生生活課長、鈴木入試課長、
植田図書課長

議事に先立ち、第3回教育研究評議会記録を確認。

I 審議事項

学長から、審議事項として予定している事項がないことの説明があり、評議員からも審議願
いたい事項のないことが確認された。

II 報告事項

1. 経営協議会、役員会及び学長選考会議の開催について

学長から、4月16日(金)に経営協議会、役員会を開催したことの報告があり、併せて
審議内容の概要及び決定事項について報告があった。また、学長から、同日に学長選考会議
が開催され、委員の互選により井上理事が議長に選出されたことの報告があった後、井上理
事から、学長選考会議の審議事項の概要について報告があった。

なお、学長から、経営協議会及び役員会における審議内容及び決定事項については、今後
運用を開始する大学ホームページの学内掲示板システムを利用して情報伝達を行う予定で
あることの報告があった。

2. 中期目標、中期計画(案)について

学長から、本学の中期目標への意見、中期計画(案)については、経営協議会及び役員会に
おける審議を経て文部科学省へ提出したことの報告があり、提出書類の内容については大学
ホームページに掲載していることの案内があった。

3. 全学流動化ポストについて

学長から、平成15年度全学流動化ポストについては、国際交流・国際貢献を基本方針と
して候補者の選考を行い、評議会及び所属学部教授会の承認を経て4月1日付けで文学部教
授として任用し、着任していることの報告があった。また、将来的に国際交流に関わる学内
センター設置の際には、当該センターへの配置を予定していることの説明があった。

なお、評議員から、全学的な視野で重点的事項を担うという流動化ポスト本来の目的から、特定学部には所属せず、早期に全学的な受け皿を用意する必要があるとの意見があり、学長から、今後学内センターの設置等と連動し、人員配置等も含めて検討したい旨の説明があった。

4. 学部、大学院運営の改善について

学長から、4月14日開催の部局長会議において資料1のとおり改善方策の申合せが策定されたことの報告があった。

5. 教育研究評議会記録の確認方法について

学長から、今後教育研究評議会の記録については、作成された段階で各評議員に電子メールで送信し、確認願うこととして、会議当日の朗読・確認を省略し、会議の時間短縮を図ることとしたいとの報告があった。

6. その他

(1) 学長から、中期目標への意見、中期計画(案)の文部科学省への提出を受け、今後年度計画の届出を行うため、早期に年度計画の確定作業を行う必要があることの説明があった。また、年度計画提出後は、各事項が評価の対象となるため、各部局において関係事項の実施について早期に対応願いたいとの依頼があり、さらに、評価の際には、実施の裏付けとなる記録・データ等が必要となることから、各部局において実施記録等の整理・保存について併せて依頼があった。

(2) 学長から、現在の懸案事項について次のとおり報告があった。

①平成16年度予算配分額について、部局要求分の配分実施手順等を早期に確定したいこと。

②学内委員会から、「室」への移行計画について、具体的な検討を早期に着手したいこと及び委員会で対応すべき部分の整理を早期に行いたいこと。

(3) 学生の安全管理及び危機管理に関する対応並びに学生確保に係る対応等について、種々意見交換があった。

次回教育研究評議会を5月19日(水)午後1時から開催することとして散会

以 上